



第535号 令和5年2月1日
発行所 京都市学校医会
京都市中京区間之町通竹屋町下ル
楠町601-1 こどもみらい館2階
TEL (075) 256-0351
FAX (075) 241-3568
発行人 杉本英造

新型コロナウイルス感染症は2類から5類へ

会長 杉本英造

新型コロナウイルス感染症第8波のピークが峠を越え減少傾向にあります。新たに米国では変異株XBB.1.5が流行しており、今年はインフルエンザ流行もあり油断はできません。そのなかコロナ感染症は5月8日、5類感染症とする方向となり、3年間におよぶ発熱外来、ワクチン接種、行動制限等で精神・身体ストレス過重状態には光がさしたようで少し安堵しています。京都市教育委員会、京都府歯科医師会及び京都市学校医会との協議を踏まえ、令和5年度定期健康診断については、学校保健安全法第13条に基づき、原則6月30日（金）までの実施といたします。感染拡大期には実施延期を検討する状況も想定され、やむを得ない場合は、令和5年度末日までに健診施行します。令和4年度は健康診断実施日以前の2週間以内に、児童生徒及び教職員に当該感染症の罹患（陽性判明）が確認された場合は実施を延期し、日程の再調整としてきましたが、令和5年度は「2週間ルール」を撤廃し、健康診断の実施前に、学校は新型コロナウイルス感染症等の感染状況を必ず学校医及び学校歯科医に報告し、健康診断の実施について確認することとしました。

2月恒例の大文字駅伝は暫定休止となり、京キッズRUN（大文字駅伝代替大会1000m記録会）と名称を変えて2月12日たけびスタジアム京都（西京極）で施行されました。第71回近医連学校研究協議会総会研究発表会（神戸）にて「京都市学校医会における新型コロナウイルス感染症について～学校健診と抗原定性検査」と題しこの3年間の感染症対応を発表します。

第96回日本整形外科学会学術総会（5月11～14日パシフィコ横浜）シンポジウム「運動器健診とどう

向き合うかー現状と課題ー」にて林 鐘声先生が講演されることになりました。京都版運動器健診を立ち上げ期から参画され指定都市学会や全国学校医大会等で発表してこられた成果と思います。運動器健診に対する会員の皆様のご意見をこの発表に反映させたく「健診の現状と課題について」をアンケートにご協力お願い申し上げます。

ゲームやスマホ使用から若年者の円背、姿勢異常が増加傾向にあり昨年の全国学校医大会で広島市医師会から、運動器健診で頸椎後弯にも注意する発表がありました。中嶋 毅先生に頸椎後弯について寄稿していただきましたのでご一読ください。また脊柱に沿って色素沈着がみられる児童生徒が時々あり、腰部後弯のサインとのことで側弯症だけでなく脊柱病変を観察する必要があります。側弯症や脊柱の異常だけでなく、児童生徒が学校生活を送る上で支障がないかを診る内科健康診断において、上半身脱衣については、これまでもプライバシーや心情への配慮を各学校で工夫して行って参りました。今後も学校と学校医連携で健康診断が円滑に行われるように担当校から相談がある場合には会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



京都市の「運動器検診」を報告するに当たって

北野中学校医 林 鐘 声

第96回日本整形外科学会学術総会（5月11日～14日：横浜市）において、「運動器検診とどう向き合うかー現状と課題ー」をテーマにしたシンポジウムに、学校医の立場として私に報告するようにと依頼が参りました。

運動器検診は運動不足と運動過多によって運動器に異常を持つ児童生徒に対して、早期に発見して治療することで将来の本格的な運動疾患への進展を防ぐことを目的として、平成28年に学校に導入されました。当初は、運動器疾患を専門としない内科系学校医にとっては戸惑うことが多く、動作テストの意義が分からない、評価の仕方が分からない、整形外科医がやるべき仕事などの意見が散見されました。始めてみると、児童生徒に予想外に様々な症状があ

るばかりか、多くの疾患が診断されるようになったことから、学校医は検診の必要性を理解したのは間違いありません。7年経過した今、保護者も学校も学校医も慣れと割り切りが加わって、検診は円滑に進んでいるようです。今回、整形外科学会の一番大きな学術集会で、運動器検診の現状と課題が取り上げられるのに当たって、整形外科医に対して一次検診を担当する学校医の立場から発言があるべきです。それをするのが私かと思わないでもありませんが、乗りかかった舟と覚悟を決めたところです。皆様のご意見をお聞かせください。アンケート用紙を同封しますので、宜しくお願いします。

抄録は下記の通りです。

京都市立学校における運動器検診

【目的】学校内科医による運動器検診の有用性を検討するため、京都市立小中高生の検診結果を調査した。

【方法】対象は平成(H)28年度96,593人、H30年度92,869人とし、他の年度についても調査した。方法は京都市運動器検診マニュアルに従い、学校内科医により行った。脊柱検査は全員上半身脱衣での視診・前屈テストを、他の異常は問診票上の有所見者に動作テストを行い異常と診断した例を専門医紹介例とした。

【結果】問診票上の異常はH28年度には17.5%（脊柱4.4%、四肢13.1%）で、しゃがみ込み不可、脊柱のゆがみ、腰痛、下肢の疼痛の順で多く、片脚起立不可を除いて、学年とともに上昇し、高1で一旦低下後、再上昇した。専門医紹介例は2.5%（脊柱0.9%、四肢1.6%）であった。H30年度では有所見者14.2%（脊柱4.1%、四肢10.1%）、専門医紹介例2.0%（脊柱1.1%、四肢0.9%）であった。

専門医を受診したのは、H28年度は23.5%（小学生31.4%、中学生20.4%、高校生9.0%）、H30年度は29.2%（小学生37.9%、中学生25.3%、高校生15.9%）であった。H28年度は75%、H30年度は57%に疾患が認められた。脊柱側弯症は検診導入前（H27年度）33人から、導入後はH28年度215人、H30年度190人と多く診断された。四肢ではオスグッド病、腰痛症、腰椎分離・こり症の診断が多く、ベルテス病、白蓋形成不全といった疾患も発見された。

令和3年度では、姿勢注意が3.2%、四肢で経過観察や要指導が2.5%、受診勧告したのは1.3%（脊柱0.8%、四肢0.5%）と、四肢の専門医紹介例がH28年度やH30年度と比べて大きく低下した。

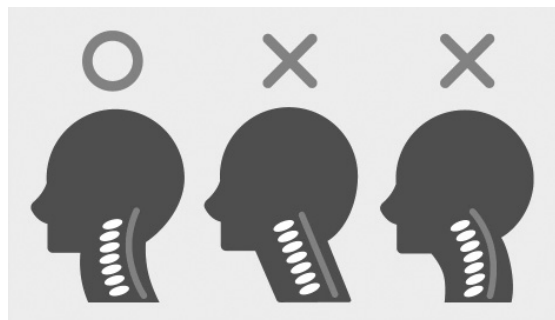
【考察および結論】H28年度の内科健康診断は検診の導入により1.3倍時間を要したが、学校と学校医の協力により多くの成果が得られた。今後の課題は、有所見者と専門医受診を勧告される者が減ること、中高生の専門医受診率の向上である。そのためには、整形外科医が専門性を発揮して、運動器疾患の予防や早期発見・早期治療の必要性について、児童生徒や保護者に啓発していくことが不可欠である。

運動器検診での頸椎後弯のチェックについて

東山泉小中学校医 中嶋 毅

子供たちがスマホやゲームに費やす時間が増えるにつれて、姿勢の異常、とくに頸椎部への影響が心配されてきている中、昨年11月に盛岡で行なわれた全国学校保健・学校医大会において、広島市の運動器検診では頸椎後弯変形の発見にも配慮し効果を上げている旨の発表がありました。杉本会長から、その検討と周知の依頼を受けましたので、整形外科の視点も加えながら、お知らせをさせていただきます。まず、頸椎後弯とはなにか、ですが、もともと頸椎は重い頭部を支えるため、横から見た形態カーブは前弯が力学的に妥当です。これが真直ぐなのがストレートネックで、逆カーブが頸椎後弯です。(図1参照)正しい姿勢をさせても、頭が前に垂れたようになっている姿勢の場合は、後弯の可能性があります。

(図1)



前弯 ストレートネック 後弯

(沢井製薬資料より)

広島からの報告の要旨は、①体前屈制限児には頸椎後弯変形が多い、②これを放置すれば、慢性的な頸・肩痛を起こしやすくなるばかりか、中高年になった時に変形性頸椎症になりやすい、③頸椎後弯は骨格構築完了後では保存的治療が困難なので、運動器検診で特に10歳前後で早期発見し姿勢の注意等を行なう意義は大きい、というような内容でした。

もともと脊椎は、立位を側面からみると、頸椎が前弯・胸椎が後弯・腰椎が前弯、というように、それぞれのカーブで代償し合って正しい姿勢を保っています。

しかし、腰椎の前弯が強いわゆる反り腰や、腰椎の前弯が胸椎にまで及んだいわゆる平背になると、その代償が、上にある頸椎の後弯化を起し、その結果、立位や長座位での体前屈では、指先が足首まで届かない、ということになる上(図2参照)、頸部や肩の周囲筋の慢性的な凝りや痛みを起しやすくなり、ひいては、加齢とともに頸椎の変形を生じやすくなる、という考察です。また、そういう児童生徒は、腹筋が弱いことが多い、とも述べられています。



(図2)

これらは整形外科的にも正しくて、成人の

ストレートネックや頸椎後弯では、慢性の頸・肩痛で悩む人が多くなりますし、加齢により変形性頸椎症になりやすい傾向も見られます。また、腹筋が弱いと、反り腰つまり腰椎前弯が強い状態になりやすくなり、これが頸椎後弯化に影響していくという結論は理にかなっています。

そうならないよう、早期介入するチャンスが運動器検診です。

立位や長座位での体前屈で、手指の先が足関節まで届かない児童生徒は、頸椎部を横からちょっと見てやって下さい。頭や顎が前に出ているら頸椎後弯の可能性もあります。

そういう子には、体前屈の練習を積極的にさせると同時に、前を向いた立位の時には頭を前に出さず顎を引いた正しい姿勢をさせる注意と、また、あわせて腹筋の強化を指示してやってください。

その後の経過でも姿勢や体前屈の改善がみられない重度の児童生徒は、整形外科受診を勧めたいだいてもよろしいかと思えます。

第 8 回 常任理事会

令和 5 年 1 月 14 日 於 木乃婦

出席者 杉本会長、井本・山内副会長、安野専務理事、大久保・川勝・中嶋・西村・守上各常任理事、嶋元眼科学校医会理事、平杉耳鼻咽喉科専門医会理事、林議長、長村・東道監事・奥村顧問

会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 12/6 1名、12/20、1/10 各2名
2. ツベルクリン反応検査
接種 12/6、判定 12/8
於：京都市教育委員会 体育健康教育室
大久保・安野
接種 12/12、判定 12/14
於：京都市総合教育センター 林・杉本
3. 精神衛生研究会 12/8、1/12
4. 「京（みやこ）キッズRUN」の実施について
5. 心臓病相談事業：2月に京都工場保健会との本契約見込みについて
6. 第96回日本整形外科学会学術総会の講演について
令和5年5月11日～14日のいずれか
於：パシフィコ横浜（運動器検診のアンケート、学校医会の英語表記等） 林
7. 令和5年度の指定都市（福岡市）が6月10日（土）6月11日（日）とも完全WEB開催について
8. 脊椎側弯症機器検診の導入に関する調査
9. 東山総合支援学校について 令和5年4月1日～後藤武近先生に決定
10. 宍陰小中学校（前期・後期）について
11. その他

<協議事項>

1. 生命のがん教育推進プロジェクトの委員推薦について 井本
2. 第71回近医連学校研究協議会総会への参加者について
令和5年2月19日（日）10時30分～
於：神戸ポートピアホテル 杉本
3. 京都市学校薬剤師会70周年記念式典について
令和5年2月25日（土）16：30～18：00
懇親会 18：30～ 於：京都ブライトンホテル
4. 健康診断留意点について
5. 令和5年度 健康診断の感染対策2週間ルールについて検討
6. 上半身脱衣について（12/22に協議 杉本・井本）
7. 新任校医研修会講師について 3/23
於：こどもみらい館4F 第一研修室
（府医主催は3/16 14：00～ 於：京都府医師会館、WEB形式）
8. 総会資料について
9. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 1/24
2. 第9回常任理事会 2/4 14：00～ 於：事務局
3. 精神衛生研究会 2/9 14：00～
4. 京キッズRUN（大文字駅伝代替大会）1000m記録会
2/12 8：30～
たけびしスタジアム京都 杉本・安野
5. 第71回近畿医師会連合学校医研究協議会総会
2/19 於：神戸ポートピアホテル 杉本
6. その他

第 9 回 常任理事会

令和 5 年 2 月 4 日 於 事務局

出席者 杉本会長、井本・山内副会長、安野専務理事、大久保・川勝・守上各常任理事、嶋元眼科学校医会理事、平杉耳鼻咽喉科専門医会理事、林議長、長村・東道監事

会長挨拶

<報告事項>

1. 色覚相談 1/24 1名
2. 宍陰小中学校について
3. インフルエンザ等による学級閉鎖状況（1/30）
4. 第71回近医連学校研究協議会総会のスライドについて
5. 令和5年度産業医配置について
6. 令和5年度結核対策委員について 大久保
7. 生命のがん教育推進プロジェクト会議 2/3 井本
8. その他

<協議事項>

1. 新任校医研修会の進行について
2. 総会資料について
3. 会誌について（5月末締め切り）
4. 令和5年度各種懇談会日程について
5. 上半身脱衣について（1/31、2/1に協議）
6. 運動器検診のアンケートについて
7. その他

<関連学会・各種協議>

1. 色覚相談 2/7 1名、2/14、2/21 各2名
2. 精神衛生研究会 2/9 14：00～
3. 京キッズRUN（大文字駅伝代替大会1000m記録会）
2/12 8：30～ 於：たけびしスタジアム京都
杉本・安野
4. 第71回近医連学校研究協議会総会 2/19
於：神戸ポートピアホテル 杉本・林
5. 京都市学校薬剤師会創立70周年記念式典 2/25
16：30～ 於：京都ブライトンホテル
杉本・林・奥村顧問
6. 中京西部支部会 2/25 18：00～ 於：木乃婦
7. 第10回常任理事会 3/4 13：30～ 於：事務局
8. その他